

軽井沢 G7 交通大臣会合作品

タイトル「灯し続け、歩き続け」

私がこの絵に込めた思い、それは人の魂の輝きが、どの時代でも劣ることなく輝き続けるということです。

私たちは、現代社会において生きて行く術を、自分自身で決断して進んで行かなくてはなりません。なぜならば、今の技術の進歩は目まぐるしく、学校や親が教育できる範疇を超えているからです。新たな進化には、新たなモラルや法が発生する。そんな社会で生きて行く事、我々個人もまたどう進化し、進んで行くのか問われています。そして、あなた自身のあり方が問われています。

その問いかけは、自然そのものであり、自然の意志である神獣やもののけといった生き物達を描くことで表現しました。どんなに自動運転が発達し、便利になっても、車の中にいる人の、肉体のその先の魂がきちんと輝いているのか。彼らは魂だけを見、ただただ静観するのです。

スフィンクスも人に問い掛けたように、現代社会に飲まれた人間は魂の輝きがなく、飲み込まれ自然に淘汰されてしまいます。

便利な世の中になることは素晴らしい事です、ですが、それを扱う人間も同時にそれに似合う魂をもつことが大切です。

地球に、神に見放されないように、我々は神獣達の問い掛けにどう答えるのか。

私は、同じ人間として、人の素晴らしさを知っています。だからこそ、どんな未来がこようが輝き続ける魂を描くことが画家としての使命であると自負しています。

2016年9月1日

小松美羽